

第1回尾張旭市総合計画審議会第2部会
(都市基盤、自然・環境、市民生活) 会議録

- 1 開催日時
平成25年8月2日(金)
開会 午後2時
閉会 午後4時15分
- 2 開催場所
尾張旭市役所3階 301会議室
- 3 出席者
伊藤 雅一、大塚 俊幸、塚本 博之、松原 しず、志村 美栄子
- 4 欠席者
なし
- 5 傍聴者数
0名
- 6 出席した事務局職員
企画部長 川原 芳久、企画課長 石坂 清二、企画課長補佐 山本 和男、
企画課主査 久野 善之、企画課主査 中川 暢頭
- 7 議題等
(1) 基本構想(案)について
(2) 政策3(都市基盤)について
- 8 会議の要旨

企画部長	<p>本日は、大変お忙しい中、お集まりいただきまして誠にありがとうございます。</p> <p>定刻になりましたので、ただ今から、尾張旭市総合計画審議会第2部会(都市基盤、自然・環境、市民生活)の第1回目の部会を開催させていただきます。</p> <p>それでは、伊藤部会長、よろしく願いいたします。</p>
伊藤部会長	<p>本日は、第1回目の部会を召集いたしましたところ、皆様ご多忙の中、お集まりいただき、誠にありがとうございます。</p> <p>本日の会議につきましては、お手元に配布しております次第に従って進めさせていただきますので、よろしく願いします。</p>
伊藤部会長	<p>まず、7月3日の全体会におきまして、各部会の職務代理者を、第1回の部会で選出することとなっておりますので、職務代理者の選出を行いたいと思います。</p> <p>全体会で、職務代理者は部会長が指名することとなっておりますので、私から指名させていただきます。</p> <p>大塚俊幸委員に職務代理者をお願いしたいと思います。</p> <p>大塚委員よろしく願いします。</p>

伊藤部会長	<p>それでは、議事に入る前に、部会の審議範囲と今後の進め方について確認をしておきたいと思いますので、事務局から、説明をお願いします。</p>
企画課長	<p>まず部会の審議範囲につきましては、資料9及び前回の全体会で配布いたしました資料5をご覧ください。</p> <p>(部会の審議範囲説明)</p>
企画課長	<p>次に部会の進め方について、事務局の案をご説明いたします。</p> <p>部会の進め方につきましては、部会でお決めいただくのが本来の姿ですが、他の部会との整合を図る必要もあることから、せん越ではありますが事務局で考えた案を説明させていただきます。</p> <p>部会の審議範囲で説明いたしました3つの政策についてご審議いただく前に、前回の全体会でご議論いただきました基本構想(案)について、各部会がそれぞれの担当分野の視点からご意見をいただきたいと考えております。</p> <p>その後、先ほどご説明いたしました3つの政策について、1政策ごとにご審議いただきたいと考えております。</p> <p>したがって、本日は政策3(都市基盤)について、事務局から説明を行った後に、ご審議いただきたいと思います。それから次回の部会では、政策5(自然・環境)、政策7(市民生活)について、同様に審議をお願いしたいと考えております。</p> <p>なお、部会は3回の開催を予定しており、最終の第3回には、2回の部会で出された意見のまとめを行い、その後の10月4日の第3回全体会において部会としての報告を行っていただければと考えております。</p>
伊藤部会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>ただ今事務局から説明いただきましたが、基本構想(案)は全体会で議論するものでありますが、議論できる時間が限られますので、この部会として担当する分野を中心にご意見を伺いたいと考えております。</p> <p>その後、担当します政策について審議を行いたいと考えております。</p> <p>この進め方について、何か意見はございますか。</p>
	<p>(異議なしの声)</p>
伊藤部会長	<p>それでは、これより継続審議となりました基本構想(案)について、当部会の担当する分野の視点から、お気付きのところについてご意見をいただきたいと思いますが、前回配布されました基本構想について、少しだけ事務局から説明をお願いしたいと思います。</p>
企画課長補佐	<p>(基本構想の説明)</p>
伊藤部会長	<p>それでは基本構想(案)について、ご意見とご質問をお願いします。</p>
塚本委員	<p>出された意見に対して、記述の修正や追加はどのように取り扱うのでしょうか。</p>
伊藤部会長	<p>審議会の意見を踏まえ、修正や追加が相応しいと考えた時には、修正を行うことになるかと思えます。ただし、将来の都市像を含む基本構想の部分について</p>

	<p>ては、この部会だけでは無く、全体的な話になるかと思えます。</p> <p>なお、配布された資料が固定化されたもので、意見を伝えても修正が出来ないというものではありません。</p> <p>ただし、出された意見には、個人的なものから、多くの委員の賛同を得られるものまであるかと思えますので、バランスを取って整理を図っていきたくと考えております。</p>
企画課長補佐	<p>委員の皆さまの意見の取扱いにつきましては、いったん意見を受け付けさせていただきまして、皆さまの意見に対する事務局の考え方を第3回部会にてお示しし、その後、必要に応じて修正をさせていただく事を考えております。</p>
塚本委員	<p>いったん文章になってしまうと、なかなか修正が難しいと思えますので、事務局も柔軟に取り扱っていただきたいと思います。</p>
塚本委員	<p>尾張旭市は、春日井市や長久手市、日進市などと同じように、名古屋市東部のベッドタウンに位置付けられています。周囲に同じようなまちが多いので、尾張旭市として個性のあるまちづくりを進めていく必要があると思えます。</p> <p>本市のブランドの一つとして定着している「健康都市」を簡単に変更していいのだろうかという疑問があります。</p> <p>都市像の案も素晴らしいとは思いますが、健康都市に少し文言を加えたようなフレーズにしてはどうかと思えます。</p>
志村委員	<p>前回の全体会において、将来の都市像が長いと発言しました。都市像があまり長過ぎると焦点がぼやけて、インパクトがなくなってしまうと思えます。</p> <p>私は、都市像が市のキャッチフレーズであると思っていたので、もう少し短い方がいいのではないかと考えていました。まちの説明としては長い方がいいと思えますが、もう少し短くしてもいいのではないかとと思えます。</p> <p>都市像の内容自体はとても良く、丸印で囲われた説明も十分理解することが出来ますが、市民の皆さんに覚えてもらえるかどうか気がなる所です。</p>
松原委員	<p>将来の都市像は、過去の総合計画毎に少しずつ変化してきているものです。これまでも、市内の公共施設などに将来の都市像が掲示されており、特に関心が無かった頃から目にしてきたものです。</p> <p>今回の都市像に対して、長いという意見が出されていますが、「みんなで支えあう」というフレーズは、東日本大震災や安心できる暮らしのためには必要なことであると思えます。</p> <p>また、「緑あふれる」や「元気あふれる」の中に、緑や健康、農業や商業も含まれており、「住みよいまち」には、尾張旭に住みたいという思いが含まれていると感じています。さらに、尾張旭市のイメージをもっと発信して欲しいという思いも込められており、今の時代にあった、都市像であると感じています。長いことによって一つ一つの内容を、市民の皆さんが考えるきっかけにもなるのではないのでしょうか。</p>
大塚委員	<p>将来の都市像は、キャッチフレーズとは異なるとは思いますが、そこにどれ</p>

	<p>だけ作った人たちの想いが込められているのかが大切であると思います。</p> <p>庁内会議で十分に練られたものであり、思い入れのあるものなので良いと思う反面、市民の方の思いがこれと反対の方向を向いているのであれば変更しても構わないと思います。</p> <p>今回の都市像の案は、過去の将来の都市像を全部合わせた、言い換えれば集大成ともいえる都市像ではないかと思います。</p> <p>具体的には、「みんなで支えあう」は第四次総合計画の「ともにつくる」と一致していますし、「元気あふれる」はそのまま残されています。</p> <p>異なっているのは、「公園都市」が「緑あふれる 住みよいまち」に変わっている点ですが、ここが第五次総合計画のオリジナリティが出ている部分だと思います。人口が減っていく時代の中で、尾張旭市はこれからも人口を増やすことを目標としています。魅力あるまちをつくることにより人口の流出を食い止め、住みよいまちをつくることで人口の増加を図ることをめざしていくという思いから、「公園都市」を「緑あふれる 住みよいまち」に変えたのではないかと私なりに考えています。</p> <p>よって、この案でいいのではないかと考えています。</p>
伊藤部会長	<p>ひと通り皆さまから意見をいただきましたが、都市像の内容に対しては理解が得られていると感じました。意見が異なっている部分は、文章表現に対する感じ方の違いではないのかと思います。</p>
塚本委員	<p>都市像の意味合いは、理解できます。</p>
志村委員	<p>都市像の内容に異論はありません。</p>
塚本委員	<p>市民の皆さんは、将来の都市像を実現する具体的な方策に関心があるのではないのでしょうか。</p>
志村委員	<p>市の施策の具体的な内容について、これまでどの程度実行されてきて、これからどのようにしていくのかが市民の方は知りたいと思います。</p>
企画部長	<p>基本構想の案のパブリックコメントを7月に実施しましたが、市民の皆さまからの意見も、基本構想そのものに対してのものよりも、個々の事業に対する要望が多く出されていました。</p> <p>なお、パブリックコメントの内容については、後日まとめたものを委員の皆さまに配布いたします。</p>
塚本委員	<p>転入してくる人に対して、名古屋市東部のどこのまちを選ぼうかという時に、尾張旭市の個性があればいいのではないかと思います。</p> <p>これから施策を検討していくかと思いますが、インパクトのあるものが出れば良いと思います。</p>
伊藤部会長	<p>将来の都市像はまちづくりの大本になる理念のことです。他市の状況を見ますと、都市像とキャッチフレーズを分けて定める自治体もあります。</p> <p>市の計画の中で総合計画は最上位の計画であり、これを踏まえて他の部門別の計画が作られていきます。どの分野に注力していくかを個別の計画の中で示</p>

	<p>している例もあります。</p> <p>考え方としましては、総合計画にキャッチフレーズを置いた方がよいという意見もありますし、個別計画の方でキャッチフレーズを用いてアピールしていてもいいのではないかと思います。</p> <p>都市像の案がキャッチフレーズであると考え、長すぎると感じますが、まちの理念と考えると適切であると感じます。</p> <p>また、将来の都市像が変わったからと言って、健康都市の取り組みをやめてしまうものではないと思います。</p>
大塚委員	<p>若い学生たちは言葉を省略することが得意です。そこで、尾張旭の若者に都市像が浸透することで、市を表現するのにふさわしいフレーズが考えだされることもあるのではないかと思います。戦略的な部分としては、キャッチフレーズが市民の側から市を売り込むアイデアとして出てくるといいと思います。</p>
伊藤部会長	<p>シティプロモーションといった市を売り込む方策を進めている自治体もあります。</p>
塚本委員	<p>尾張旭をぱっとイメージできるようなものがあるといいと思いますので、都市像とキャッチフレーズが別にあってもいいと思います。</p>
伊藤部会長	<p>他の部会での意見も出ているかと思いますので、事務局で取りまとめた上で、改めて検討を進めてはどうかと思います。</p>
伊藤部会長	<p>2つ目の議題は、政策3（都市基盤）についてのご意見をいただきたいと思っています。それでは、まず、事務局から資料の説明をお願いします。</p>
企画課長補佐	<p>（資料5のうち政策3の説明） （資料10の説明）</p>
伊藤部会長	<p>ただ今、お聞きいただきましたように、政策3（都市基盤）は、施策が3-1から3-5までに分かれております。そこで審議は、施策ごとに一つ一つ行っていくことにします。</p> <p>それでは、施策3-1「質の高い住環境の整備」について、ご意見がありましたら発言をお願いします。</p>
伊藤部会長	<p>確認ですが、成果指標の過去の経緯は資料10で分かりますが、目標値の具体的な数値については、後ほど示されるのでしょうか。</p>
企画課長補佐	<p>本日午前中に開催した会議で庁内案が固まった所でありまして、今後、議会との意見交換会を実施していく予定としております。なるべく早く委員の皆さまに目標値の案をお示ししたいと考えておりますので、8月下旬に開催する部会でお示ししたいと思います。</p>
企画課長	<p>市民アンケートで取得する成果指標の目標値が、現在は矢印で表記されていますが、8月下旬に資料をお示しする際には、具体的な数値で表示することを考えております。</p>
塚本委員	<p>尾張旭市は、土地区画整理事業によって都市基盤整備を進めてきましたが、現在、土地区画整理に着手していない地域については、どのような手法で整備</p>

	を進めていくのでしょうか。施策を取り巻く現状と課題の欄に「地区の特性に応じた整備手法の検討が求められています」と書いてあるが具体的にはどのような状況ですか。
企画課長	<p>現在事業を進めている旭前・城前と北原山の次に土地区画整理事業を進めていくことは大変難しいと考えております。北山地区や南原山地区において区画整理事業の準備を進めていた時期もありましたが、組合の設立には至りませんでした。</p> <p>これらの地区においても、狭あい道路や下水道などの整備が必要になってくるかと思いますが、現時点で具体的な整備計画が定まってはいない状況です。</p> <p>現在は、北山地区で結成された、将来の都市基盤整備を視野に入れた地元有志のまちづくりグループの支援を進めています。</p>
塚本委員	市の職員だけで基盤整備を進めるのではなく、地域の特性をよく知っている地域住民の意見を十分に取り入れてほしいと思います。
企画課長	地域住民の方の中にも、積極的な方もいればそうでない方もお見えになりますので、意見集約の難しい所かと思えます。
大塚委員	区画整理に変わる整備手法を総合計画のどの部分から読み取ればいいのか分かりにくいように思えます。具体的な事業がとらえにくいいため、基本事業として記載してはどうかと思えます。
企画課長	基本事業の3-1-1に含まれてくるものとは思いますが、まだ具体的な整備手法が固まっていないため、成果指標として表現されてはいません。
大塚委員	<p>基本事業と施策の成果指標の関連性はどのようになっていますか。</p> <p>施策の成果指標は、市民の評価によるものが多くなってくると思いますが、基本事業の成果指標に具体的な事業が記載されるものではないのでしょうか。</p>
企画課長	<p>28ページに施策体系の考え方について記載しておりますが、基本事業の下に目的と手段の関係となる約700強の事務事業を定めており、その中で具体的な事業について示しています。</p> <p>未整備市街地の整備については、事務事業で定めており、基本事業に記載されてはおりません。</p>
塚本委員	総合計画の体系から考えると、基本事業に基づいて事務事業を定めるように考えなければいけないと思います。
企画課長	ご意見のとおり、上から定めていくものと考えております。ただ、総合計画の中に全ての事務事業を掲載することはできないので、基本事業レベルのもの、事務事業レベルのものを区分して、体系付けしたうえで掲載しています。
塚本委員	全ての業務を総花的に記載する必要はないと思いますが、市民要望が高い分野を基本事業に掲載していくことで、市民の方にも分かりやすくなるのではないのでしょうか。
企画課長補佐	地区の特性に応じた整備手法の検討は、基本事業3-1-1の中の事務事業に含まれています。ただし、基本事業の成果指標として記載はされていないと

	ということになります。
伊藤部会長	地区の特性に応じた整備手法の検討については、都市計画マスタープランに方向性や可能性について記載されていないのですか。
企画課長補佐	北山地区まちづくり支援事業として、都市計画マスタープランの重点取組事業に位置付けられています。
伊藤部会長	資料10に記載されている基本事業の成果指標の現状値や目標値は総合計画書に記載されないのでしょうか。
企画課長	8月下旬に資料をお示しする際には、基本事業の成果指標の現状値や目標値も記載したものをお渡しします。
塚本委員	土地区画整理事業は行き詰まりを見せており、これからは地区の特性を生かした整備が必要であると思います。施策を取り巻く現状と課題の欄に「区画整理以外のまちづくりの手法」として、前面に打ち出していくべきではないでしょうか。
企画部長	<p>これまでは、まちづくりの手法が土地区画整理一本でありましたが、その他の整備手法を考える時期が来ていると考えています。</p> <p>土地区画整理事業による市街地整備のほかという記載に続いて、「・・・が必要です。」「・・・をやらなければならない。」といったように、地区の特性に応じた整備手法に関する表現を強めていくことを検討します。</p>
塚本委員	本施策は「質の高い住環境の整備」としているもので、整備についても中身の伴ったものとしていただきたいと思います。
大塚委員	<p>必要であるというような表現で強く書けば書くほど、総合計画書に記載されない事務事業に関するこの記載となり、計画書では見えないものとなってしまいます。</p> <p>具体的には、今後地区の特性に応じた整備手法を検討し、事業を進めていくことになった時に、基本事業の成果指標である「秩序ある街区となっている市街地面積割合」に算入されるのでしょうか。資料10の記載では、算定式が「区画整理済及び開発済面積」となっており、事務事業の成果が基本事業に反映されていないと思います。</p> <p>具体的な事業として実施すること、実施しなければならないことが事務事業に記載されるということであり、それが基本事業にリンクしているかが分からないことが気にかかります。</p>
企画課長	<p>現在は、区画整理済と開発済面積の合計による算定式となっており、今の段階で見えていない新しい整備手法については記載ができていない状況となります。</p> <p>今後、中間年次の見直しの際に具体的な整備手法が固まっていれば、算定式を見直すことも考えられるかと思います。</p>
	<p>午後3時25分休憩</p> <p>午後3時35分再開</p>

伊藤部会長	それでは、施策３－２「快適に移動できる交通基盤の整備」について、ご意見がありましたら発言をお願いします。
志村委員	市営バスあさび一号に対して、市民意向調査ではいろいろな意見が出されており、遠回りすることや本数が少ないというような意見が出ているようですがどのような状況ですか。
企画課長	市営バスに対しては、運行間隔の短縮や早朝・夜間の運行、藤が丘駅への延伸などについて要望をいただいています。 高齢化の進行を考えれば、これからの１０年間、今の状態のままで運行を続けるということは考えられないと思いますので、多くの市民の皆さまからの意見を受けて考えていかなければならない部分と思います。
大塚委員	基本事業３－２－２の駅周辺施設とは、何を指していますか。
企画課長補佐	主に、駅前広場のことを指しています。
塚本委員	具体的には何を整備するのですか？
企画課長	名鉄瀬戸線の市内４駅のうち、乗降客数が一番多い三郷駅に駅前広場が無いため、その整備を考えております。
企画部長	三郷駅において、送迎ができるようなロータリーのような設備を考えております。
伊藤部会長	基本事業３－２－３の成果指標である歩道のバリアフリー化実施箇所数が増加しているにも関わらず、道路段差に不便を感じる市民の割合が減っていない事には矛盾がある様に思いますので、成果指標の変更などを考えてはどうでしょうか。
企画課長	道路段差に不便を感じる市民の割合については、資料１０では、平成２０年度からの数値しか見ていただくことができませんが、平成１４年度に４２．５％、平成１８年度に３３．１％であったものが下がってきており、平成２０年度以降横ばいになっている傾向となっております。
塚本委員	これから自転車の保有台数が増加することが見込まれていますが、自転車専用レーンの整備は考えているのでしょうか。そうであれば総合計画書に記載してはどうでしょうか。
企画課長	今のところ、自転車専用レーンを整備する計画はございませんので、成果指標として掲載することは難しいものと考えております。
企画課主査	自転車専用レーンについては、公共交通網という位置付けでは無く、施策４－３交通安全対策の推進において、施策を取り巻く現状と課題として記載しております。
大塚委員	駅周辺の自転車駐輪場は、必要な台数分の整備がされているのでしょうか。
企画部長	台数の確保はされていますが、駅への近さなどの条件から利用者の多い場所と少ない場所に差があります。
大塚委員	自転車駐輪場も成果指標に定める駅周辺施設に含まれていると考えても良いのでしょうか。

企画課長補佐	自転車駐輪場の整備につきましても、基本事業3-2-2に含まれる事務事業に自転車等駐車場維持管理事業として位置付けられています。
志村委員	基本事業3-2-5の生活道路の整備と維持管理について、市民アンケートで道路側溝の蓋に対する要望が多く出されていましたが、整備は進められているのでしょうか。
企画課長	地区を定めて計画的に整備を進めているところです。市内全域が一気に整備出来ればよいのですが、優先順位を付けて整備を進めています。
志村委員	優先順位をつけて進めていくしかないということは理解できます。
伊藤部会長	それでは、施策3-3「安全で安定した水の供給」について、ご意見がありましたら発言をお願いします。
塚本委員	災害時等を考えると、市内に地下水をくみ上げる箇所はどのくらいあるのでしょうか。
企画課主査	指定避難所である小学校には地下水をくみ上げる井戸が整備されており、災害時に水を確保する手段は整えているところです。
塚本委員	個人が設置や管理している井戸の数は把握しているのでしょうか。
企画課長	手元に資料が無いため分かりかねますが、担当課では把握できていると思います。
伊藤部会長	それでは、施策3-4「衛生的で快適な下水道の整備」について、ご意見がありましたら発言をお願いします。
大塚委員	施策の成果指標である水洗化率とはどのような数値なのでしょう。平成24年度の現状値が94.5%となっていますが、残りの5.5%を減らしていくための取り組みはどのようなものなのでしょう。
企画課長	水洗化率は、下水道の供用開始区域内での接続率と考えていただければ結構です。 下水道は供用開始してから3年以内に接続する義務がありますが、一部接続していただけない世帯もあります。下水道課の職員が接続を依頼しているところですが、相手のあることでもあり100%を達成することは難しいものと考えております。 また、下水道の整備が進むことで、新たに供用開始された地区の人口が毎年加わることから、数値が一旦下がって徐々に上がっていくものとなります。
企画部長	合併浄化槽の設置費用が高額であることから、浄化槽の設置から日が浅いとなかなか簡単に切り替えていただけない状況もあります。
塚本委員	人が居住している区域を分母にして、面積に基づいて下水道普及率を算出することはできるのでしょうか。
企画課長	手元に数値がないので、後日回答させていただきます。
伊藤部会長	合併浄化槽のような下水道に類似する汚水処理施設は、本施策に含まれていますか。それとも他の施策に位置付けられているのでしょうか。
企画部長	浄化増については、施策5-4生活衛生環境の向上に含まれております。

大塚委員	基本事業3-4-2の成果指標に処理後の水質が計画放流水質基準を超えた日数があるのですが、流出事故が発生したことはあるのですか。
企画課主査	流出事故が発生した記録はありませんが、発生しないように水質を維持することを目的にした成果指標です。
伊藤部会長	それでは、施策3-5「雨水対策・河川整備の推進」について、ご意見がありましたら発言をお願いします。
塚本委員	道路冠水が発生する箇所は把握されていますか。
企画課長	瀬戸街道の一部で、道路冠水が発生していることは承知しています。浸水対策を進めるにあたり、県道であることから、県に対して要望を行っているところです。
企画部長	以前に比べて、排水能力以上の豪雨が降ることが多くなってきており、環境が変わってきていると認識しています。
大塚委員	基本事業の成果指標である道路冠水箇所数が順調に減ってきていますが、整備を進めてきたからと考えていいのでしょうか。
企画課長	毎年の整備を進めているところであり、冠水箇所数が少しずつ減ってきている状況となります。
伊藤部会長	そろそろ時間も経過してまいりましたので、この件の審議はこの程度にとどめ、ご意見等につきましては、事務局で取りまとめていただくことにしたいと思います。
伊藤部会長	続きまして、次第の3について事務局から、説明をお願いします。
企画課主査	(次回開催日の説明)
伊藤部会長	ありがとうございました。 それでは次回の部会は、8月29日の午後2時から開催し、審議項目につきましては、「政策5 環境と調和したまちづくり」と「政策7 人と人がふれあうまちづくり」を審議議題として進めることとしますので、皆様よろしくをお願いします。 その他に連絡事項はありますか。
企画課長補佐	お手元に配布させていただいております、資料11と資料12について説明させていただきます。 資料11は、第1回総合計画審議会(全体会)の会議録ですが、この取扱いについては、次回の全体会で議題としたいと考えております。なお、市の附属機関の会議録は、基本的に公開となっておりますので、本審議会の記録についても原則公開として取り扱うこととしたいと考えております。 配布資料を基に、内容のまとめ具合、委員各位の発言内容等について、次回全体会までに目を通してくださるようよろしくお願いいたします。
企画課長補佐	資料12は、全体会において尾張旭市と近隣市との間の人口の移動についてのご発言がありましたので、資料として提供させていただくものとなります。
塚本委員	この資料は、市民の転入・転出に関する資料なのでしょうか。

企画課長	勤務や通学によって他市町に移動する人数（流入・流出人口）を示した資料になります。
塚本委員	転入・転出に関する資料があると良いと思います。
企画課長	過去数年間分の転入・転出に関する資料を用意いたします。
伊藤部会長	ありがとうございました。その他、事務局で何かありますか。
企画部長	<p>特にございませぬ。長時間に渡りご審議を頂きましてありがとうございました。次回以降もよろしくお願ひいたします。</p> <p>以上をもちまして、第1回目の第2部会の日程をすべて終了いたしました。ご協力ありがとうございました。</p>